昭和五年六月廿六日第三種郵便物認可
昭和六年三月三十日發行

町村新報

發行日　毎月二回十五日卅日
編輯兼印刷發行人　酒井秀吉
發行所　福島縣石城郡磐崎村大字下湯長谷勝善三十八番地　町村新報社
定價　一部金十錢　一ケ月金二拾錢
廣告料　五號活字十二字詰一行金二十錢　別色刷　四十錢

燦として重し 孝子刀自の葬典

三月二十九日、前日來氣遣かはれた雨模樣も、此日は麗らゝかに惠まれた櫻日和であつた。

小野葬儀委員長を始めとして七班貳百五拾餘名の委員は早朝より部所に付き、今日の盛典に萬遺漏なきを期してゐた。

大衆の雜踏

刀自の喪を發するや、內閣總理大臣濱口雄幸閣下並に各省大臣閣下を始めとし朝野各方面より贈られたる花輪、生花等實に百餘点、さすがに宏大なる比佐邸內も所狹き迄に供奉された、刀自終焉の此の盛典を觀んと集い來る者町內は元より近郊近在の人々實に數千人を算して、比佐家邸前表町は元より上町に亘り大衆密集して午前十時既に交通杜絶して了つたので、湯本消防組は交通整理の任に當り漸く弔意客の通路を開いたが、尙ほ危險を慮つて車馬自動車の通行を一時禁止した。

委員は前日來、邸內に凹字型の通路を設けて通行の便を計り、喪主比佐先生の意思により老若男女貴賤の別を問はず一般人の觀覽、焼香を自由に開放したので町內人は前日來徹宵告別焼香の自由を嬉んでゐた。

各町村有志、黨員、無慮四千人の弔意客は、山形屋松柏館、劇場三函座、湯本公會堂の五ヶ所に中宿休憩し午前十時より須次告別式場に臨んだが。

此日も刀自終焉の盛典にあやからんとする觀衆、近郊近在の人々貴賤の別なく弔意客に伍して告別焼香する事が出來たので何れも思はざりしこの光榮に感激してゐた。

刀自の生前を語る之の末聞の盛典、雜踏の人波も、委員諸君の鮮かな手際に整理されて定刻を遲るゝ午后三時勝行院住職權少僧楠正隆導師以下役僧十四名の懇なる讀經弔祭式が行はれた。

民衆的告別式

葬送

比佐邸前より上町に亘りて密集せる觀衆は消防組によつて兩側に整列せしめられたが僅かに通路を開いたのみであつた。

弔旗二十流、花輪八十餘個、生花二十餘点、供物、導師、喪主、靈柩、遺族、會葬者等型の如き一行も、先頭が勝行院內に入るも會葬者は尙ほ且つ比佐邸前に溢れて、さしもに宏き勝行院內も會葬者僅に吾分の一によつて埋められ。他の會葬者は院前遊園地內に集ろした。

靜肅裡に讀經引導の式終りて放鳥の委員によつて弔電濱口閣下外百八十餘通報告。弔詞小柳縣知事閣下小泉町長代讀、外三十餘通の朗讀あり、式了つて午后五時夕陽と共に納棺の儀終つた。

此日會葬する者實に二万餘人と註されてゐた。

かくて刀自の終焉は空前絶後の盛典儀によつて弔られたのである。

馬鹿者日記（二）

丹野生

次きに敎員給の一割寄附問題に及び本村豫算の約五割を占むる、敎育費に對し一割の削減をなし得るとせば大なる負擔輕減となる。これ成も容易なことでない、もつと近道はないものたらうか、次きは村豫算中賞與の項目を全廢することであつたこれでは一人の反對者もなかつた。

愈々決議文の作成とまでなつて來た座長は決議文起草委員を指令撰任した。

併せて其委員は實行委員となり直ちに其交渉に取りかゝることゝした。

決議文

三月二十四日時局對策懇談會ニ於テ決議スル事左ノ如シ

一各種團体ノ補助ハ之ヲ削減スル事

二敎員俸給ノ一割寄附ヲ懇員俸給令の改正なんてそんな遠道なことては目的の達談的ニ交渉スル事

三役場吏員學校敎員ノ賞與ヲ全廢スル事

實行委員

鈴木道治　御代利平　高木左久馬　吉田直文　大井川半兵衛　磯上寅治　丹野廣吉

二月二十七日好晴

毎日用もあるもんたなうと嗚はこほすけれと仕方ないゝ五六分然るに式は既に終今日も早くから出て平町土木署に通路愛護賞與傳達式に臨み、吾等の賞與を貰つて來ねはならぬ流石は官廳は時間勵行た午前十時と云ふに汽車の都合で定刻に遲る許りであつた。

ナンダ五等賞か。仕方ない貰はすに歸る譯にも行くまい、署長神妙に構えて賞狀を渡して下れた、賞金は後て送ると云ふから何かあるのか知れぬ、署長は僞はつくまい早速駈け足で驛に戻り十一時の汽車で歸り直ち役場に向つた。

今日は村會は豫算の本會議で此日三校長は役場に出ることに打合せか出來て居るそれは內々一割俸給寄附交渉の爲めなんである、村會は今休議中であつた其休議中を利用し吾等の交渉委員長格たる鈴木道治氏が有志會の顚末を述べて居る時であつた。

それで交渉はどうなつたかと云ふに吾々有志の委員許りでは眞の力が足りない、そこで村會からも委員を立て共協力するでなければならぬと云ふ、鈴木氏の意見から一部の村議と協議の上村會からも委員を立てるべく開會の劈頭動議の提出を打合はしたと云ふことであつた、午から俺も村會の傍聽席を汚すことにした、部厚な豫算書を前に披らいて今豫算の密議に取りかゝらんとする、刹那議長一聲動議提出の說明に大井川十郎氏は起つた。先程休議中鈴木氏の話に依れば村の有力家たる各位は農村の疲弊を憂慮し、有志會を開き時局打開の對策につき協議した結果本會に陳情して來て事柄は誠に其勞を多とし本會も共に其目的の達成に協力すべきか當然と考へる、依て本會よりも若干の委員を擧げることの動議を提出する。

村長然らば二名以上の讃成者あることを必要とする旨告げだれば木田周平君眞先に讃成の意を告け、續いて酒井嘉七君起ちて本動議に讃成の意を表明すれば直ちに動議成立となり次の五名が撰衡委員に依つて撰ばれることになつた。

小野右京、大平左久馬、木出周平、野本左內、箱崎權重郎等の委員と協力して校長と交渉するのは何時の日だらう、その日取りは校長の都合を見計らへ好機會を見て村長から各委員に通知すると云ふことであつた猶此日には本村學務員も立會することになつた。（續）

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント會社特約店
和洋銅鐵金物問屋　釜屋商店
磐城平、五　電話九番　九九番
振替口座東京一〇九五六番
確實敏捷は釜屋の生命なり

梅毒を切らず注射せず一掃する
ベルツ丸
適應症
梅毒。瘡毒。胎毒
梅毒性橫げん。腦梅毒
リユウマチス。下疳
せきずゐろう。遺傳性梅毒
梅毒性皮膚病
尙本藥の最も特長は恐るべき動脈硬化症（血管のかたくなる病）老衰の素因である、中風、ちうき、卒中、萎縮、腎藏炎の人は本藥の服用に依りて必ず治療の目的を達す
卸小賣商
精製コールタール
一般計量器
消毒用藥品
岩瀨屋藥舗
湯本町石畑

春播種の御用意と
農具類の御用命は
織內農具店
磐崎村下湯長谷